

2) ミニバス路線再編

【実施日】平成 22 年 10 月 16 日（土）始発より

【基本コンセプト】・ラウンドダイヤを採用し、わかりやすい発時刻での運行を目指す。

- ・各路線始終発時刻及び使用車両台数については、概ね現状維持とする。
- ・再編に関係しない路線については、基本的に変更を加えないものとする。

【実施内容】

項目	目的	内容	備考
1. 路線再編			
1) 路線再編	非効率でわかりにくい路線設定の解消。	重複路線を解消し、路線の単純化を図り、効率的でわかりやすい路線網を確立。	
2) 経路変更	交通空白地域の解消を図る。	大坂上地区、平山地区について実施。	
3) ダイヤ設定	わかりやすいダイヤ設定の実現。	1 時間以上の運行間隔を解消し、ラウンドダイヤの設定を実施。	
2. 乗り継ぎ制度	路線分割に伴う乗り継ぎ負荷の軽減。	ちぎり券方式により実施。乗り継いだ際も 2 乗車目を通し運賃とする。	
3. ターミナル整備	乗り継ぎに伴うバス待ち環境の整備。	バス停配置等の見直し。上屋、ベンチの設置。	

4. 再編PR	再編に当り利用者へ再編内容などの情報を提供する。	市広報、パンフレットの個別配布、地域懇談会での説明など。	
5. ユニバーサルデザイン対応	すべてのひとにやさしいミニバスの実現。	車外放送や福祉知識の充実など社員教育の徹底。誘導ブロックなどの施設整備。	
6. わかりやすい案内表示	誤乗車防止、利用不安の解消。	各路線のアルファベット標記による略称化、路線カラーの設定、ピクトグラムでの経由地表記など。	

【利用人員の変化】

- ・全体的には、増加傾向にある。
- ・路線によっては明らかな減少が見られるため、詳細な調査を必要とする。
- ・詳細はグラフ参照（P4～5）

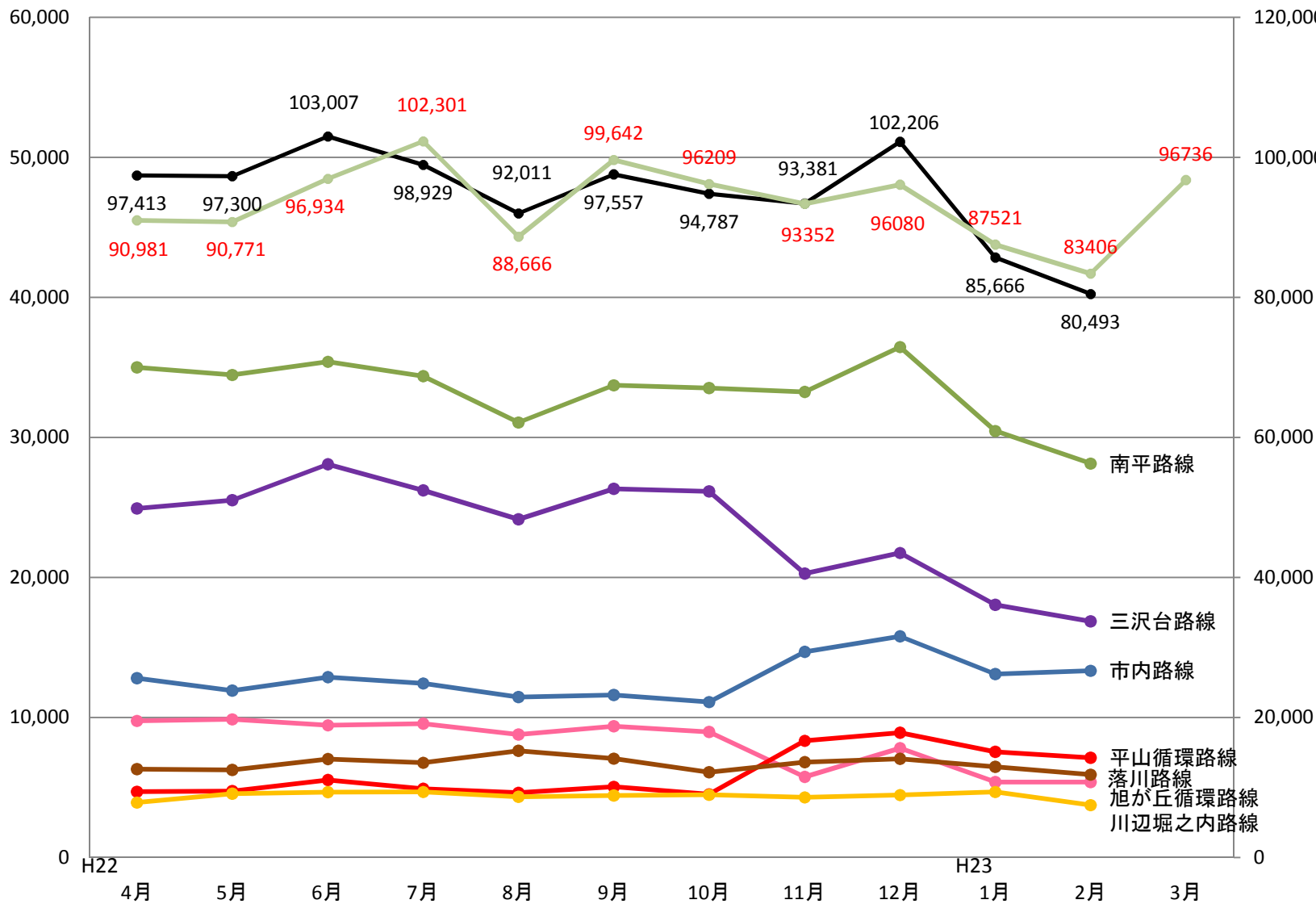
【再編に伴う請願など】

時期	要望者	要望内容	処理経過	備 考
H22.9	豊田団地自治会 大和田団地自治会	旭が丘循環路線の豊田駅北口での分割を解消し、市役所、市立病院までの直通便の復活。	・平成 22 年 9 月議会に請願が提出され、同議会にて採択。	請願者 665 名
			・平成 22 年 10 月 14 日説明会開催 再編の内容、必要性、乗り継ぎ方法などを説明	出席者 41 名
H22.11	豊田・大和田団地 有志 (9 名)	・市役所・市立病院までの直通便復活	・実証調査を実施する。	平成 22 年 12 月 13 日面会し回答したが、実施時期を明記するよう求められた。
		・車内安全のため手すり増設	・年度内に全車設置	
H22.12	—	豊田駅北口での停車時に待機場所がまちまちである	法定の休憩時間以外はバス停待機とするよう運行事業者に要望。	
H22.12	日本信販住宅 在住者	三沢台路線と南平路線との乗り継ぎの待ち時間が長い。	市内全体のバランスを考慮した。	
H23.3	—	豊田駅北口の乗り継ぎで日野台路線に誤乗車	乗り継ぎ案内を周知・徹底する	
H23.3	ミニバスを改善 していく会	南平路線の南平体育館等を経由する循環路線の新設、及び日野駅行き復活。	平成 23 年 3 月議会に請願が提出され環境まちづくり委員会審議で採択すべきとされた。	請願者 1,002 名 3 月 28 日の本会議にて採択される予定。

平成22年度ミニバス利用人員表

※日野台路線除く

(人)



§ 年間合計 §
 H22年度 1,042,750
 H21年度 1,025,863
 (2月末現在)

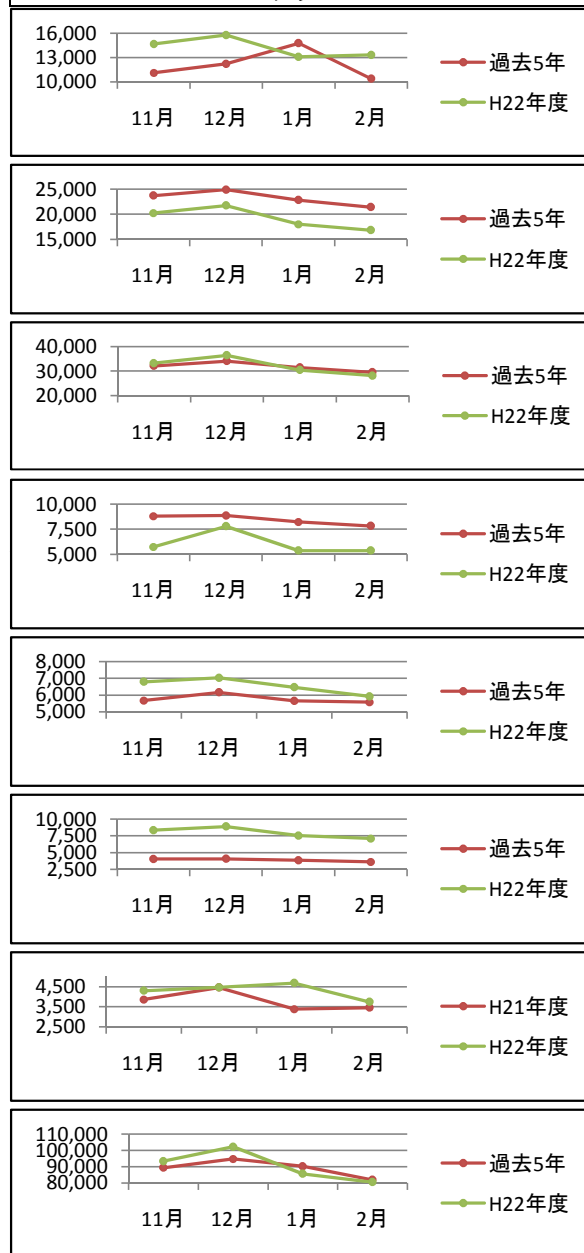
 § 11月～2月 計 §
 H22年度 361,746
 H21年度 360,359

- 凡 例
- 市内路線
 - 三沢台路線
 - 南平路線
 - 旭が丘循環路線
 - 平山循環路線
 - 落川路線
 - 川辺堀之内路線
 - 合計
 - 平成21年度実績

【ミニバス利用人員比較表(路線・月別)】

		11月	12月	1月	2月	計
市内路線	過去5年間平均値	11,130	12,229	14,782	10,406	48,547
	平成22年度	14,682	15,788	13,096	13,342	56,908
	差 引	3,552	3,559	▲ 1,686	2,936	8,361
	増減率	31.9	29.1	▲ 11.4	28.2	17.2
三沢台路線	過去5年間平均値	23,727	24,906	22,846	21,435	92,914
	平成22年度	20,272	21,757	18,039	16,857	76,925
	差 引	▲ 3,455	▲ 3,149	▲ 4,807	▲ 4,578	▲ 15,989
	増減率	▲ 14.6	▲ 12.6	▲ 21.0	▲ 21.4	▲ 17.2
南平路線	過去5年間平均値	32,113	34,104	31,463	29,547	127,227
	平成22年度	33,239	36,465	30,464	28,139	128,307
	差 引	1,126	2,361	▲ 999	▲ 1,408	1,080
	増減率	3.5	6.9	▲ 3.2	▲ 4.8	0.9
旭が丘循環路線	過去5年間平均値	8,806	8,865	8,237	7,836	33,744
	平成22年度	5,746	7,800	5,381	5,374	24,301
	差 引	▲ 3,060	▲ 1,065	▲ 2,856	▲ 2,462	▲ 9,443
	増減率	▲ 34.8	▲ 12.0	▲ 34.7	▲ 31.4	▲ 28.0
落川路線	過去5年間平均値	5,680	6,167	5,653	5,582	23,082
	平成22年度	6,799	7,033	6,471	5,921	26,224
	差 引	1,119	866	818	339	3,142
	増減率	19.7	14.0	14.5	6.1	13.6
平山循環路線	過去5年間平均値	4,035	4,075	3,848	3,625	15,583
	平成22年度	8,342	8,898	7,531	7,117	31,888
	差 引	4,307	4,823	3,683	3,492	16,305
	増減率	106.7	118.4	95.7	96.3	104.6
川辺堀之内路線	過去5年間平均値	3,864	4,455	3,385	3,450	15,154
	平成22年度	4,301	4,465	4,684	3,743	17,193
	差 引	437	10	1,299	293	2,039
	増減率	11.3	0.2	38.4	8.5	13.5
合 計	過去5年間平均値	89,355	94,801	90,214	81,881	356,251
	平成22年度	93,381	102,206	85,666	80,493	361,746
	差 引	4,026	7,405	▲ 4,548	▲ 1,388	5,495
	増減率	4.5	7.8	▲ 5.0	▲ 1.7	1.5

グラフ



見解

市内路線: 1月は過去と比較し減少しているが、それ以外は増加している。増便、ラウンドダイヤ化の効果が見れている。更なる増加を図る。

三沢台路線: 運行内容は、ほぼ以前のままだが利用人員が恒常的に減少している。詳細な調査、検討を実施する。

南平路線: ラウンドダイヤ化したが、増便等ないためほぼ現状維持となっている。日野駅行きの廃止の影響も少ないといえる。

旭が丘循環路線: 増便、ラウンドダイヤ化の効果が見れていない。恒常的に減少しているため、対応策を検討する。

落川路線: 運行内容に変更はないが、利用者増は市内路線の分割などによるものと思われる。増加率が減少しているため、今後の動向に注意する。

平山循環路線: 増便、ラウンドダイヤ化の効果が見れている。利用者の増加は順調といえるが、増加率の若干の減少が見られる。

川辺堀之内路線: 全体的な利用者の増加が見れる。実証運行に伴う積極的なPR活動などの成果といえるが、各月ごとの増加率の著しい変化について注意する。

合計: 利用人員は、天候等に左右される部分もあるが、全体としては増加しており、成果が見れているといえる。利用者が減少している路線は個別に調査、検討を行う。